

宮崎県日向市・助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト



背景

南海トラフ巨大地震
頻発化・激甚化する台風、豪雨等の災害

県内で最大の被害！

南海トラフ巨大地震は、30年以内に70～80%の確率で発生。
日向市の被害想定（最悪のケース）【宮崎県公表】

- ・日向市では、**最大震度7、津波高 最大15mの津波**が押し寄せる
- ・死者 **約5,900人**、負傷者 **約2,000人**



- 人口 約59,359人(R3.1)
- 年間平均気温 約17℃
- 年間日照時間 2,000時間

事業の
目的

市民の生命と財産を守る

- ⇒市民誰もが安心して暮らせる強いまちづくりの推進
- ⇒自助・共助・公助による災害対応力の強化

特定避難困難区域を解消！

※特定避難困難区域
津波到達時間以内に避難できる指定緊急避難場所がない地域

まずは、ハード面の整備。
市内10カ所に津波避難タワー・避難山の整備（R2年度までに完了）



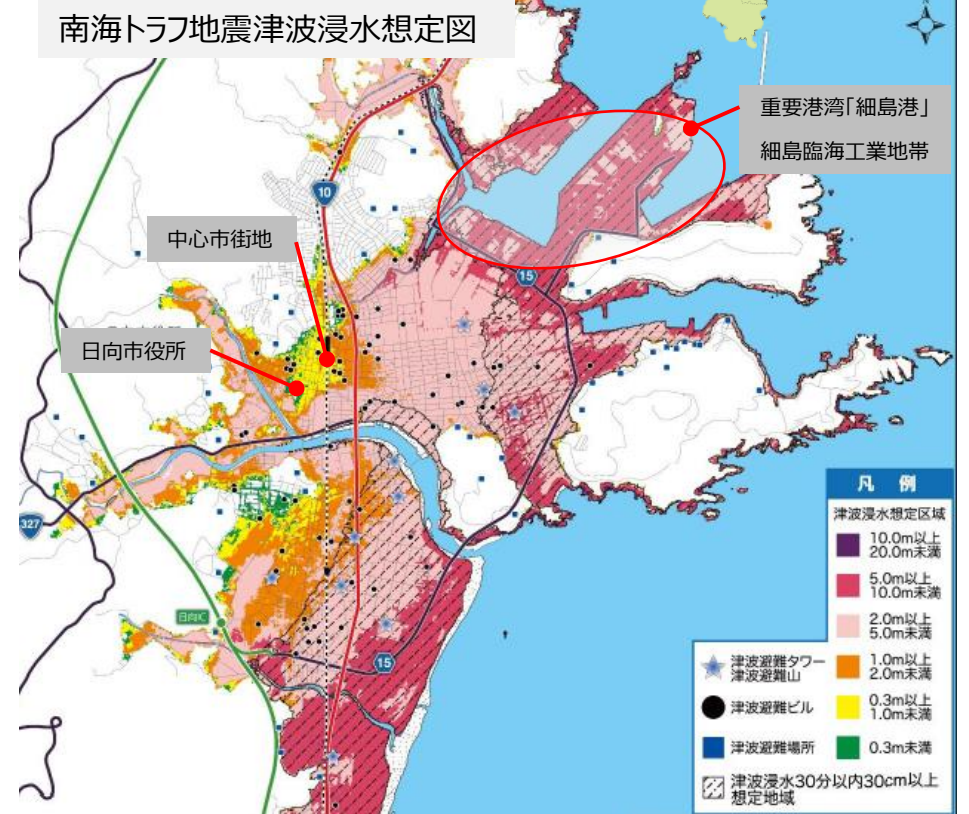
往還2号避難タワー（2,430人収容）



切島山2区避難山（2,920人収容）

- 住民の防災意識の向上
- 高齢者や障がい者、性別のほか、感染症に対応した避難所運営
- 避難経路の確保や、防災倉庫などハード面の充実

これまでの
取組



凡例

- 津波浸水想定区域
 - 10.0m以上 20.0m未満
 - 5.0m以上 10.0m未満
 - 2.0m以上 5.0m未満
 - 1.0m以上 2.0m未満
 - 0.3m以上 1.0m未満
 - 0.3m未満
- 津波避難タワー
- 津波避難山
- 津波避難ビル
- 津波避難場所
- 津波浸水30分以内30cm以上想定地域

現状の
課題

宮崎県日向市・助け合う災害に強いまちづくりプロジェクト



●災害予防対策事業

「日向市備蓄計画」に基づき、食料や生活必需品、防災対策資器材等を確保し、被災者への物資の安定供給体制の整備を図る。
要配慮者や男女共同参画等への配慮、新型コロナウイルス感染症等への対応が求められており、様々な備蓄資材等が必要。

【具体的には：アルファ化米、飲料水などの非常食、毛布など避難所で使用する資器材】



●防災施設整備事業

指定避難所や避難経路の確保、防災倉庫などの防災関連施設の充実、持続可能で質の高いインフラ整備による事前の防災・減災に取り組む。

【具体的には：災害用備蓄倉庫の整備、津波避難路整備、地域の津波避難路整備費用の補助】



- ・避難の円滑化
- ・避難所運営の改善

災害対応力の強化

- ・被害の最小化
- ・市民誰もが安心して住み続けられる街

●企業の皆様をお願いしたいこと

- ・企業版ふるさと納税での支援
- ・防災・減災に関連するノウハウの提供/連携

●企業の皆様のメリット

- ・市HPや広報紙等での掲載
- ・感謝状の贈呈、贈呈式等の開催
- ・連携等による企業イメージの向上

【担当/連絡先】

日向市総合政策課政策推進係 松木
TEL 0982-66-1001
Mail sougou@hyugacity.jp

事業
内容

得られ
る成果

寄附を
する
メリット
等